

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】令和6年5月16日(2024.5.16)

【国際公開番号】WO2023/022185
 【出願番号】特願2023-542435(P2023-542435)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7 / 3 8 (2 0 1 8 . 0 1)

C 0 9 J 4 / 0 2 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 9 J 1 3 3 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【F I】

C 0 9 J 7 / 3 8

C 0 9 J 4 / 0 2

C 0 9 J 1 3 3 / 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和6年2月8日(2024.2.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

活性エネルギー線硬化性粘着剤層を含む粘着シートであって、
 前記粘着剤層を構成する粘着剤は、ベースポリマーと樹脂Aとを含み、
 前記樹脂Aは、DSC測定において0以上のガラス転移温度を有する活性エネルギー線硬化性樹脂である、粘着シート。

【請求項2】

前記樹脂Aの重量平均分子量は3000以上である、請求項1に記載の粘着シート。

30

【請求項3】

前記樹脂Aは、ウレタン樹脂、エポキシ樹脂およびアクリル系樹脂からなる群から選択される少なくとも1種である、請求項1または2に記載の粘着シート。

【請求項4】

前記粘着剤における前記樹脂Aの含有量は1重量%以上70重量%以下である、請求項1または2に記載の粘着シート。

【請求項5】

前記粘着剤は光開始剤をさらに含む、請求項1または2に記載の粘着シート。

【請求項6】

前記粘着剤層の引張弾性率E1 [MPa]と、該粘着剤層を活性エネルギー線により硬化させた後の引張弾性率E2 [MPa]との関係が、次式： $E2 / E1 \geq 1.1$ ；を満たす、請求項1または2に記載の粘着シート。

40

【請求項7】

前記粘着剤層のゲル分率は70%以上である、請求項1または2に記載の粘着シート。

【請求項8】

前記粘着剤層の厚さは1.0μm以上100μm以下である、請求項1または2に記載の粘着シート。

【請求項9】

前記ベースポリマーはアクリル系ポリマーである、請求項1または2に記載の粘着シート。

50

【請求項 10】

前記ベースポリマーの計算 T_g は 30 未満である、請求項 1 または 2 に記載の粘着シート。

10

20

30

40

50